

事前評価個表

整理番号	11
------	----

地域（地区）名	<small>ふじかわちゅうりゅう</small> 富士川中流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山梨県	対象市町村	<small>いちかわみさとちよう</small> 市川三郷町ほか4町
事業実施期間	R2年度～R6年度（5年間）	事業実施主体	県、町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、山梨県の南西部に位置し、全国森林計画で定められた富士川広域流域に属する。北部は富士川上流地区、東部は山梨東部地区、南部は静岡県、西部は長野県に接する市川三郷町ほか4町からなる総面積 106 千 ha の区域となっており、県土面積の約 24%を占めている。</p> <p>本地区の森林面積は 91 千 ha（森林率 86%）、対象民有林は 88 千 ha（森林全体の 97%）、うち人工林は 37 千 ha（人工林率 42%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は 9 齢級以上が 90%を占め、利用可能な資源が年々増加しており、今後、主伐・再造林を推進していくとともに、森林施業の長伐期化を図る森林においては、高齢級の搬出間伐なども推進し、森林資源の循環利用を推進していく必要がある。</p> <p>しかしながら、森林所有者の高齢化や世代交代に伴う森林への関心の低下により、適切な森林施業が行われず、水源涵養や山地保全等の森林の有する公益的機能の低下などが懸念される。</p> <p>このため、継続可能な森林経営体制を確立するとともに、森林資源の適切な循環利用及び公益的機能の維持増進を図る為、本事業を活用して事業地の集約化と計画的かつ適正な森林整備及び効率的な路網整備を実施していく。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：1,781ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：13,477m（林業専用道 開設及び改良）</p> <p>総事業費：1,954,674 千円（税抜き：1,776,977 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 2.60$</p> <p>（総便益（B）=7,308,511 千円、総費用（C）=2,807,970 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：主伐・再造林や搬出間伐の実施など木材の増産体制の確立が不可欠な地区であり、林業専用道の整備による森林施業の効率化や施業集約化による適正な森林整備の実施が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した計画的な森林整備及び路網整備により、施業地の集約化や生産コストの縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：路網整備の実施により主伐・再造林や搬出間伐による木材の安定供給が図られるとともに、適切な森林整備により、森林の有する公益的機能の維持・増進が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

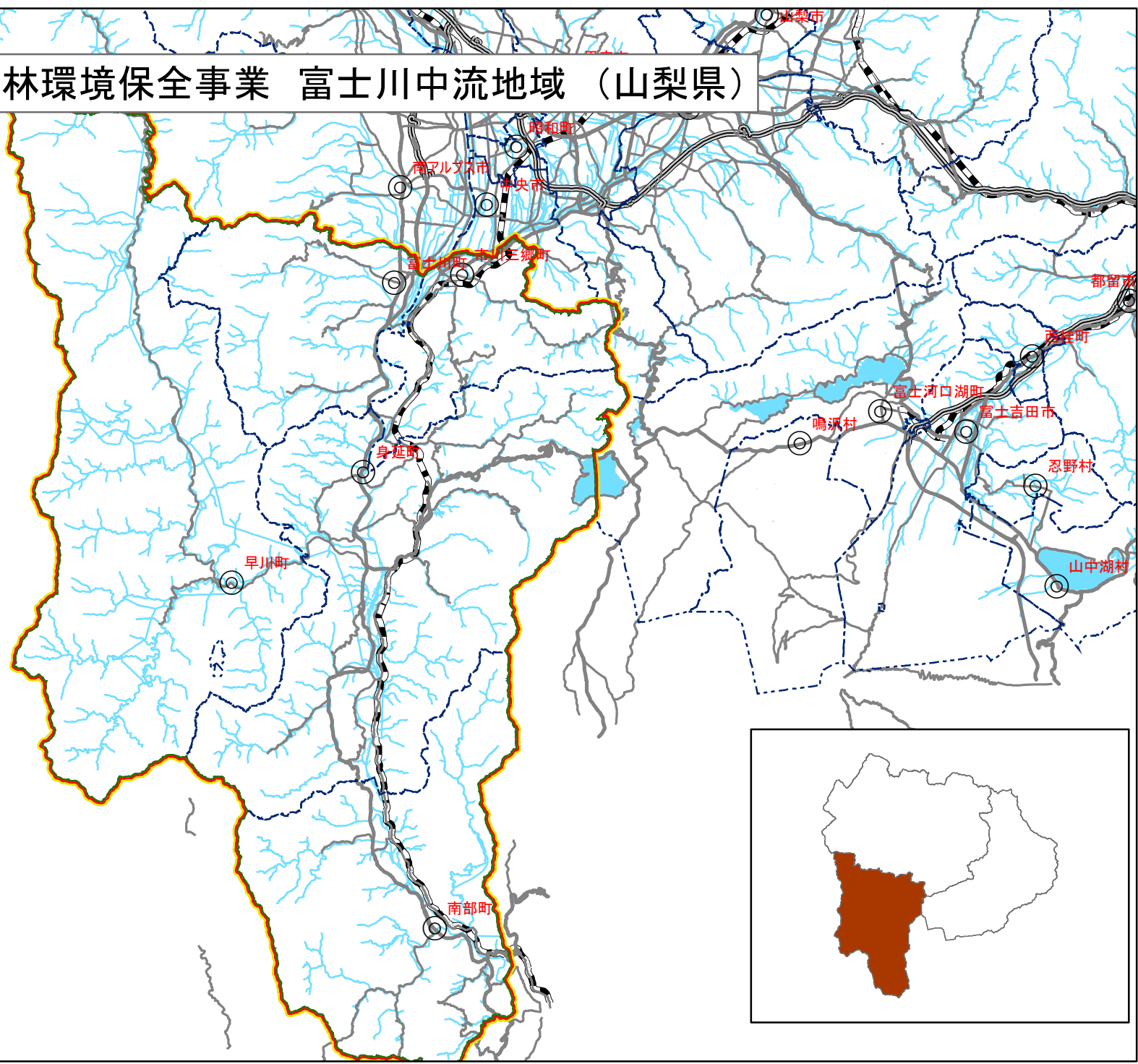
都道府県名：山梨県

地域(地区)名：富士川中流

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,162,815	
	流域貯水便益	342,338	
	水質浄化便益	1,198,058	
山地保全便益	土砂流出防止便益	794,007	
環境保全便益	炭素固定便益	781,645	
木材生産便益	木材生産等経費縮減便益	131,038	
	木材利用増進便益	2,398	
	木材生産確保・促進便益	859,395	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,690,321	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	184,583	
維持管理費縮減便益		161,913	
総 便 益 (B)		7,308,511	
総 費 用 (C)		2,807,970	
費用便益比	$B \div C = \frac{7,308,511}{2,807,970} = 2.60$		

森林環境保全事業 富士川中流地域（山梨県）



- 凡例
- 事業区域
 - 森林整備
 - 計画区界
 - 面水系

1:300,000

